

ITOIGAWA



GEOPARK

糸魚川 ジオパーク 戰略プラン

オンリーワンのアピールと
ナンバーワンのおもてなし

「世界ジオパークのまち 糸魚川」の
オンリーワンをみんなで輝かせよう

平成23年12月

糸魚川市



糸魚川ジオパーク戦略プラン

はじめに

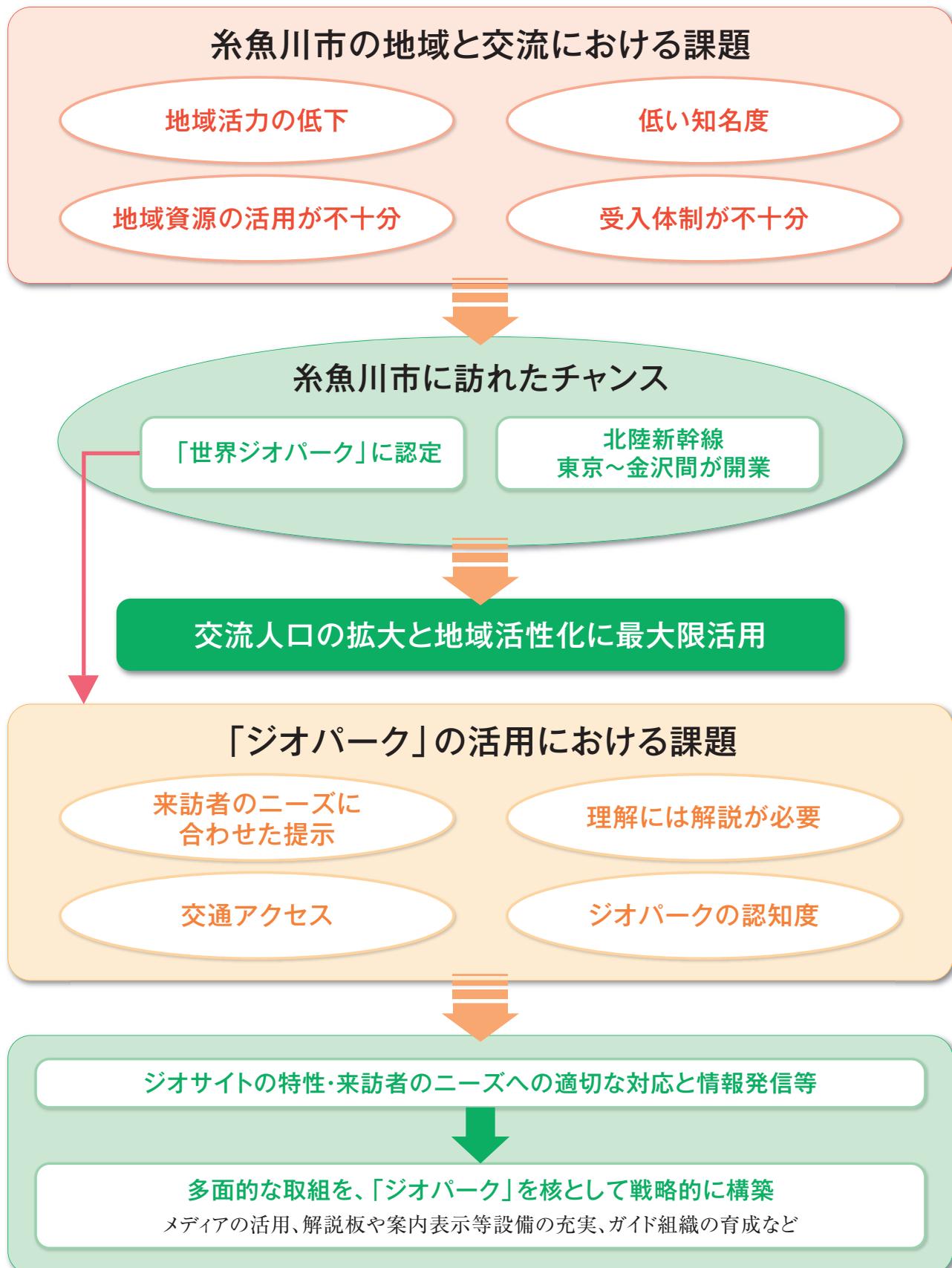
2015(平成27)年春に北陸新幹線が金沢まで開業し、東京～糸魚川間が約2時間となります。金沢・関西方面からも1時間ほどの短縮となり、糸魚川市へのアクセスが大きく向上します。2009(平成21)年の世界ジオパーク認定を最大限に活用しつつ、沿線地域にない個性的なまちづくりを進め交流人口の拡大と地域活性化を図るためには、より戦略的な事業展開が重要となります。

のことから、2015(平成27)年度を目標年度とする「糸魚川ジオパーク戦略プラン」をここに策定いたしました。今後、本プランを市民・産業・行政が一体となって取り組み、効果的な交流人口拡大の実現を図らなくてはなりません。

Contents

■ 糸魚川ジオパーク戦略プランの概念	1
■ 1.糸魚川市の地域と交流における課題	4
■ 2.糸魚川市に訪れたチャンス	5
■ 3.「ジオパーク」の活用における課題	6
■ 4.ジオパーク戦略プランの位置づけ	7
■ 5.基本理念	8
■ 6.戦略の視点	8
■ 7.基本方針(戦略の方向性)	10
■ 8.基本目標	11
■ 9.戦略の具体策の柱と重点施策	12
■ 10.戦略を構成する具体策	19
△核となる施策	20
△ジオパーク来訪者の誘致拡大	21
(1)学術的交流の推進	21
(2)周辺観光地域との連携	28
(3)海外からの外国人客への対応	32
(4)ジオパークの普及・PR	35
△ジオパーク来訪者の受け入れの充実	42
(1)情報発信機能・案内機能の充実	42
(2)ジオサイトへのアクセスの充実	54
(3)ジオサイトをめぐるツアーの充実	58
(4)ジオパーク資源の活用	65
(5)ホスピタリティの向上	72
■ 11.ジオサイトごとの整備方向	79

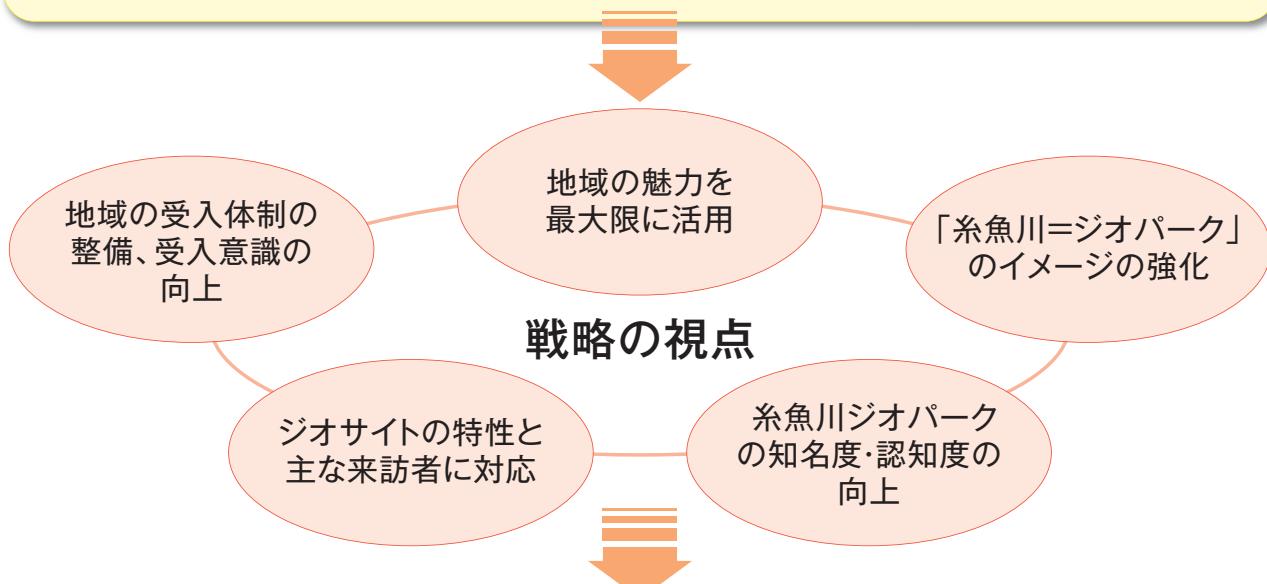
糸魚川ジオパーク戦略プランの概念



基本理念

「世界ジオパークのまち糸魚川」のオンラインをみんなで輝かせよう

糸魚川市民が、糸魚川市の魅力を再認識し、誇りと自信を持ち、
それぞれの立場から「世界ジオパークのまち糸魚川」の情報発信と受入体制の充実に努め、
交流人口の拡大により糸魚川市の活性化を図る。



基本方針（戦略的方向性）

ジオパーク来訪者の
誘致拡大
外への発信

ジオパーク来訪者の
受け入れの充実
準備を整える

ジオパーク戦略の両輪

基本目標

年度	区分	観光入込客数	宿泊客数	フォッサマグナミュージアム 入館者数	首都圏での ジオパーク認知度	来訪者満足度
平成22年度 (実績)		178.1万人	19.6万人	5.9万人	0.2%(10万人)	
平成25年度 (短期目標)		183.5万人 (+5.4万人)	20.2万人 (+0.6万人)	6.3万人 (+0.4万人)	5%(215万人)	
平成27年度 (中期目標)		207.9万人 (+29.8万人)	22.9万人 (+3.3万人)	7.3万人 (+1.4万人)	10%(429万人)	新潟県の平均 満足度を超える

経済効果 約21億円

具体策の柱と重点施策

基本
理念

「世界ジオパークのまち糸魚川」
のオンラインをみんなで輝かせよう

基本
方針

誘致拡大

受け入れの充実

具体策の柱

(4)ジオパークの普及・PR

(3)海外からの外国人客への対応

(2)周辺観光地域との連携

(1)学術的交流の推進

(5)ホスピタリティの向上

(4)ジオパーク資源の活用

(3)ジオサイトをめぐるツアーアーの充実

(2)ジオサイトへのアクセスの充実

(1)情報発信機能・案内機能の充実

重点施策

①日本のオンラインに出会えるまちをアピール
②ホームページの充実
③北陸新幹線開業に向けたキャンペーン等による
情報発信(ジオパーク大使の活用)

①香港ジオパークとの交流拡大

①上越地域との連携によるPRとイベント実施
②大糸線沿線との連携によるPRとイベント実施

①小中学生・高校生の体験学習の誘致
②大学の研修会等の誘致

①日本ナンバーワンのおもてなしのまちづくり
②ジオパークガイド体制の充実
③ジオパークマスターの活用
④食の魅力向上

①フォッサマグナパークの改善

①核となるツアーアーの充実
②多様なツアーアーの開発

①糸魚川駅からのバス・タクシーの充実

①スマートフォン等の活用
②糸魚川駅周辺での情報発信
③フォッサマグナミュージアムのリニューアル